

www.shimokamagari.jp

公益財団法人 蘭島文化振興財団

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町下島2361-7
TEL:0823-65-2029

◎施設開館時間 9:00→17:00(入館は16:30まで)
◎施設休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)



蘭島
ガイド策

呉市
下蒲刈

六つの文化施設のご案内

RANTO
SIGHTSEEING
GUIDE BOOK

SHOTOEN

RANTOKAKUBIJUTSUKAN

HAKUSETSURO

SANNOSEGOHONJIN
GEIJUTSUBUNKAKAN

RANTOKAKUBIJUTSUKAN BEKKAN

KONCHU NO IE



公益財団法人
蘭島文化振興財団
RANTOBUNKASHINKOZAIDAN

歴史と文化が香る、
時の流れを感じる町並み。

豊かな自然と調和した
日本の美しい文化を
六つの施設で紹介します。

BEAUTIFUL JAPANESE
CULTURE IS EXHIBITED
IN 6 FACILITIES.



MAP

ガイド
マップ

瀬戸内文化の拠点にふさわしい
潮の香あふれるロケーションで
緑溢れる庭園や絵画をご堪能ください。



1

しょうとうえん
松濤園〈歴史資料館〉

◎一般:800円 ◎高校生:480円
◎小中学生:320円 ※割引セット券有



4

さんのごほんじんげいじゆつぶんかかん
三之瀬御本陣芸術文化館〈美術館〉

◎一般:500円 ◎高校生:300円
◎小中学生:200円 ※割引セット券有



2

らんとくかくびじゆつかん
蘭島閣美術館〈美術館〉

◎一般:500円 ◎高校生:300円
◎小中学生:200円 ※割引セット券有



5

らんとくかくびじゆつかんべつかん
蘭島閣美術館別館〈美術館〉

◎一般:300円 ◎高校生:180円
◎小中学生:120円



3

はくせつろう
白雪楼〈市有形文化財(お抹茶付)〉

◎一般:400円 ◎高校生:240円
◎小中学生:160円 ※割引セット券有



6

こんちゆう いえ
昆虫の家〈資料館〉

◎一般:300円 ◎高校生:180円
◎小中学生:120円



美しい庭園の島「蘭島」で
日本の文化と芸術を感じていただけます。

下蒲刈は古くは春蘭の自生する美しい島「蘭島」と呼ばれ、海上交通の要衝として栄えた歴史がある島です。こんな下蒲刈には6つの文化施設があり日本の美しい文化を広く紹介しています。

瀬戸内の風景が調和する白砂青松の美しさを楽しみながら、ゆっくりとお過ごしください。



松濤園全景（蘭島閣美術館別館から望む。）

日本人の心のまほろば“松濤園”。

“松濤園”という名は、三之瀬瀬戸の潮の流れを借景に、青々と茂る松のお庭を楽しんでいただけるようにと名付けられました。園内には4つの資料館があり、それぞれの建物は日本各地から移築、または復元した日本家屋を活用しています。



園内は回遊式庭園となっており、四季折々に彩られるお庭をご堪能ください。



彩り豊かに歴史をひも解く、4つの資料館。

松濤園には4つの資料館があります。朝鮮通信使の歴史を紹介する「朝鮮通信使資料館 御馳走一番館」、古伊万里の名品を展示した「陶磁器館」、世界中の灯火器コレクションを楽しめる「あかりの館」、江戸時代にこの下蒲刈島にあった御番所を復元した「蒲刈島御番所」があります。



朝鮮通信使資料館
御馳走一番館



あかりの館



陶磁器館



蒲刈島御番所



4 〈蒲刈島御番所〉江戸時代、瀬戸内海の交通の要衝。

5 〈御馳走一番館〉通信使の船や彼らをもてなした料理の模型などを展示。



3

1 〈あかりの館〉世界の灯火器コレクションを展示。 2 〈陶磁器館〉中庭風景。
3 〈陶磁器館〉古伊万里の名品を数多く展示。「色絵花卉文六角壺」(柿右衛門様式)1670-90年代。

PICK
UP!

ユネスコ「世界の記憶」に登録された
友好の歴史を学ぶ



日韓両国の朝鮮通信使に関する資料群が、2017年秋にユネスコ「世界の記憶」に登録されました。対等な立場で相手を尊重する異民族間の交流の歴史が評価されたものです。松濤園所蔵「朝鮮人來朝裝備前御馳走船行烈図」もこの一つです。



近代日本画壇の名品が、本格的木造建築の中で鑑賞できます。



蘭島閣美術館は、荘厳な佇まいの本格的木造建築の美術館です。日本の近代絵画を代表する作品や、郷土ゆかりの作家の作品などを展示しています。日本画、油彩画、版画、素描などを含めた約2,200点のコレクションの中から会館ごとに企画展示しています。



- 1 〈吹き抜け〉
- 2 〈第1展示室〉外装内装ともに和風建築を基調としています。また内部は全面じゅうたん張りされており、靴を脱いでゆっくりと鑑賞していただけます。

PICK UP!

下蒲刈に多く自生していた
しゅんらん
春蘭の名を由来とする美術館。



蘭島閣美術館には、春蘭をイメージしたモチーフが幾つかあります。自然と歴史の調和する純和風の美術館で、特別な時間をお過ごしください。



江戸時代後期を代表する頼家ゆかりの茶室。



白雪楼は江戸時代の末、沼隈の豪農 山路機谷が、邸内に移築、祖父の重好が京都黒谷で営んだ寄好亭を楼造り(二階建)に改め、漢学研鑽の場にしたものです。建物の部材には細かく位置を示した墨書があり、内部は様々な趣向を凝らした建築様式となっています。中でも一階にある可動壁を備えた和室の実例は、現在ほとんど残っていない貴重な建物です。



1<二階書斎>天井には、中国北宋の詩人・蘇軾の書を彫った壁板の複製が掲げられています。2<可動壁と通路>床脇の一間の壁が可動し、離れの茶室と二階につながるようになっています。3<茶室>江戸時代後期を代表する茶室です。



PICK UP!

お庭を楽しみながら、ほっと一息。癒しの空間でお抹茶をどうぞ。



一階のお座敷で、お抹茶を召し上がっていただけます。季節の感じられる庭や瀬戸内の潮流を眺めながら一息ついて、時間を忘れてのんびりとお過ごし下さい。



京都洋画壇の巨匠、
須田国太郎の
常設展示館。

三之瀬御本陣芸術文化館は、独立美術協会の重鎮として活躍した須田国太郎の作品、また1920年代からの日本美術の作家の作品を展示しています。また建物は、江戸時代に対馬藩一行が宿泊所として使用した歴史と趣きのある「本陣」の外観を復元したものです。



1



2

1 吹き抜け展示ホール) 天井が高く広々とした空間の中で、ゆっくりと鑑賞していただけます。2 2階展示室) 須田国太郎の常設展示を行っています。



左: 2Fには須田国太郎ゆかりの品がコレクションされた展示室も。

右: 須田国太郎「紅薔薇」1942年/油彩画

PICK
UP!

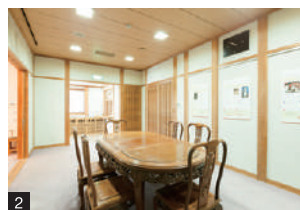
本陣近くにある
朝鮮通信使ゆかりの史跡。



本陣前にある「福島
がんぎ
雁木(昔の船着場)」は、朝鮮通信使も上陸の際に使用した歴史のある貴重な史跡で、当時の様子を感じる事ができます。



6つの施設の中で、もっとも高い場所に位置する丘の上の美術館。ここから眺める三之瀬瀬戸の風景は格別です。
(別館からの眺望はP.6へ)



1〈展示室〉寺内萬治郎の常設展示を行っています。 2〈ラウンジ〉こちらで、休憩できます。 3〈絵具箱〉寺内萬治郎が実際に使用していた絵具箱です。

常設展示館。
洋画家・寺内萬治郎の
小高い丘の上に建つ、

蘭島閣美術館別館では、洋画家・寺内萬治郎の作品を常設展示しています。裸婦像をはじめとする絵画作品のほか、画家の愛用していた絵筆やパレットなどの貴重な品々も展示しています。丘の上からは、対岸へ続く蒲刈大橋と瀬戸の風景を眺めることができます。

PICK
UP!

寺内萬治郎とは。



寺内萬治郎「髪」1961年／油彩画

終生、裸婦像を描くことに情熱を傾けた油彩画家で、蒲刈出身の父をもつ地元ゆかりの作家です。日本女性の健康な「小麦色の肌」の美しさを追求する中で、女性のたくましさや強さをいち早く絵画に表現した作家です。



下蒲刈に生息する
様々な昆虫や
世界の珍しい昆虫が
いっぱいです。

昆虫の家では、下蒲刈に生息する多種多様な昆虫の標本や微小昆虫はもちろん、日本の美しいトンボ、世界の美しい昆虫、広島県の絶滅の恐れのある昆虫をテーマに展示しています。また夏休みには、昆虫の標本作りも行えるイベントも行っていきます。



すきやふう ざんぐあん
数寄屋風の住宅(頑愚庵)
を改装してつくられた昆虫
の家。庭には蝶類が好む
植物を植え込んでおり、自
然の蝶の姿が見られる事
もあります。



PICK
UP!

貴重な標本が見られる展示室では、
不思議な昆虫たちの世界が広がる。



下蒲刈に生息する古
代の蝶「キマダラモドキ」
Aや南アメリカに生息す
る、金属のように青く輝く
羽を持つ蝶「モルフォチョ
ウ」Bなど、世界の昆虫
標本が楽しめます。

年間イベントのご紹介 EVENT

♪ 蘭島閣ギャラリーコンサート

毎月第三土曜日は、
蘭島閣ギャラリーコンサート。



蘭島閣ギャラリーコンサートは、閉館後の美術館を利用して行われるクラシックの室内楽コンサートです。演奏家は国内外で活躍する一流アーティストから気鋭の若手アーティストまで多彩な顔ぶれが出演。親しみやすい距離で、トークをはさみながら進行します。アットホームな雰囲気の中で、奏者と観客とが音楽を通してつながる、特別な一時をお楽しみ下さい。



朝鮮通信使再現行列

毎年秋に、瀬戸内が彩られる
伝説のパレードが蘇ります。



江戸時代に訪れた「朝鮮通信使」の一行が下蒲刈に立ち寄った際には、藩をあげて、島をあげての盛大なもてなしが行われました。その様子は「島が沈むほど」と表現されています。このイベントでは、色とりどりの再現衣装を身にまとった約250人の参加者が、朝鮮通信使の行列の様子を史実に基づき再現、当時のパレードの様子をお楽しみいただけます。



梅見茶会・秋の茶会

日本の侘び寂びの心を“松濤園”から学ぶ。



蒲刈島御番所の和室を利用して、お茶会を年に2回、春と秋に行っています。日本の伝統的な侘び寂びの心を感じることが出来ます。

下蒲刈へのアクセス方法 ACCESS

● 広島市内から車で約60分

呉市内より国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋(有料)を渡った最初の島が下蒲刈町です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用できます。

● 広島市内からバス利用の場合

広島バスセンター から、さんようバス運行のバス「蒲刈 豊浜 豊」行き乗車。下蒲刈町内の「見戸代棧橋」停留所で接続する後続バスに乗り換え。「三之瀬」停留所下車。

● 呉市内から電車・バス利用の場合

JR呉線で広駅または仁方駅で下車。駅前最寄りのバス停留所より瀬戸内産交運行のバス乗車。下蒲刈町内「三之瀬」停留所下車。(バスは上下線とも毎時1本運行しています。)

● バスに関するお問い合わせ

さんようバス株式会社 TEL: 0846-65-3531

瀬戸内産交株式会社 TEL: 0823-70-7051



お問い合わせはこちら INFORMATION

公益財団法人 蘭島文化振興財団

ホームページ <http://www.shimokamagari.jp/>

TEL: 0823-65-2029 FAX: 0823-70-8079 E-mail: info@shimokamagari.jp

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町下島2361-7